

独立行政法人農業者年金基金の平成30事業年度評価結果の主要な反映状況

1. 役員人事への反映について

役員人事への反映	中期目標に定められた業務について、中期計画に沿った年度計画を達成し、主務大臣による平成30年度の総合評価が「B」評価であったこと等を踏まえ、役員解任は行わなかった。
----------	--

2. 役員報酬への反映について

役員報酬への反映	中期目標に定められた業務について、中期計画に沿った年度計画を達成し、主務大臣による平成30年度の総合評価が「B」評価であったこと等を踏まえ、役員報酬について反映させる事項はなかった。
----------	---

3. 法人の運営、予算への反映について

評価項目	30事業年度評価における主な指摘事項	令和元年度及び2年度の運営、予算への反映状況
業務運営の効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	20歳以上39歳以下の基幹的農業従事者数は減少し続けている状況ではあるが、同年齢層の新規加入者数の増加に向け、より効果的な加入推進活動に取り組まれない。	<p>30事業年度評価における指摘事項を踏まえ、</p> <p>(1) 「平成31年度における農業者年金加入推進の取組方針」に以下の項目を追加し、重点的に加入を進めることを明確にし、加入推進活動を実施した。</p> <p>① 簿記講習会や行政実施の新規就農講座などを活用したPRや農業大学校等の若い農業者が集まる機会を通じて、若い農業者の加入に向けた幅広い働きかけを行う。</p> <p>② 戸別訪問先の選定に当たり、特に、20歳から39歳の加入対象者及び農業次世代人材投資資金の給付を受けている新規就農者で、戸別訪問を行っていない者は、必ず戸別訪問対象者に含める。</p> <p>③ 戸別訪問に際し、20歳から39歳の加入対象者の場合は、親の同席を求め、理解を得られるよう丁寧に説明し、質問等にも対応する。</p> <p>(2) 以下の若い農業者向けの広報媒体等をホームページ等に掲載するとともに、業務受託機関における加入推進活動に積極的に活用されるよう、働きかけを行った。</p> <p>① 若い農業者向け（政策支援内容を説明したもの）</p>

リーフレット

- ② JA青年部のリーダーとの対談記事、加入者・受給権者の声の紹介、新規加入の状況、加入推進用ロゴマーク・ラジオCM用サンドロゴの活用に向けたマニュアル等
- ③ 若い農業者向けのWebサイトである「マイナビ農業」、「農業担い手メールマガジン」等のネット情報

なお、加入推進活動の現場においても活用できるよう、これらの広報媒体等をスマートフォンで閲覧できる対応を図った。